

第3章

障害の状態に応じた指導

通級による指導には、決まった目標やカリキュラムがあるわけではありません。児童生徒の実態に応じて指導内容を決め、個別の指導計画を作成します。(P. 20、21 参照)

目の前の児童生徒を見て、的確な実態把握を行い、指導を組み立てましょう。



1 読み書きに困難さを示す児童への指導

<小学校低学年>



「あ」や「な」などの斜めの線や交わる線がうまく書けないな。図を見分けるのも、苦手なんだ。小さい「つ」が入った文章が上手に読めないんだよね。

斜めの線や交わる線の区別が分かるような練習をしてみましょう！文章をすらすら読むことができるような勉強も一緒にしていこうね。



【長期目標を決めましょう】

- 自分で文章を読み取り、問題に答えることができる。
- 斜めの線や交わる線の見方をスムーズにするための力を高める。

【短期目標を決めましょう】

- ひらがなとカタカナの特殊音節を正しく読むことができる。
- 1年生で習うくらいの文章を、文節で区切って読むことができる。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：斜めの線や交わる線の見方を培う。

主なねらい	活動（例）
集中力 空間認知力 形を弁別する力	まちがい探し（P. 41 参照）
直観力 空間認知力 短期記憶力	迷路
空間認知力 集中力	点つなぎ
形を弁別する力 見る力 空間認知力	ジオボード（P. 41 参照）

教材は、形を弁別する力や線の交錯を見分ける力を伸ばすものにしていきたいですね。



【留意点】

- ・学習者である児童が難しすぎると感じないように、スモールステップで指導していく。
- ・児童に合った学習方法を一緒に見付けていく。

【指導の実際】

本時は、左右上下斜めのものを見る力を伸ばすための指導を行った。苦手としている特殊音節を理解するために、単語の絵と文字、音韻を結び付ける手立てを考えた。

1 始めの会

- ・プリントに日付と学習予定、頑張りたいことを記入する。

2 まちがい探しを行う。

- ・タイマーを用いて、時間の感覚を養う。

3 ジオボードを行う。

- ・児童の実態に合わせて、ペグの数、目印、輪ゴムの色を工夫する。

4 絵と文字、音韻を結び付ける活動

- ・PCの画面に絵、文字を表示し、手拍子を打ったり、足で拍子を取ったりして特殊音節を体感しながら結び付けていく。
- ・児童の様子を見ながら、ゲームを取り入れ、読んだり書いたりする活動も取り入れる。

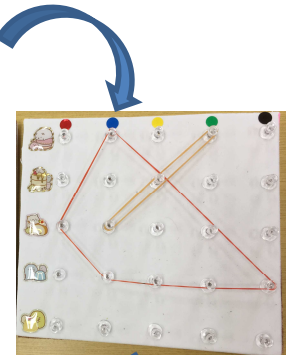
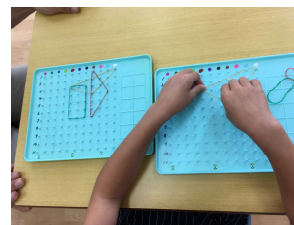
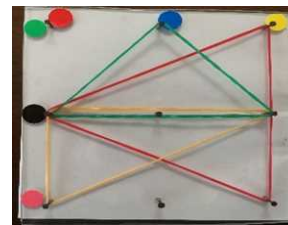
5 振り返りを行う。

- ・生活場面に生かせる場面をイメージさせる。通級指導担当は肯定的な言葉で学びの価値付けを行う。
- ・活動ごとに児童自身の言葉で振り返りを行うと、自分に合った学習の仕方のヒントがつかめていきます。

【教材・教具】



やりやすい方法を使って探そう！左から右に向かって探すとうまくできるよ。



スモールステップで課題の難度を上げていくジオボード

3	2	1	
し	し	し	
ぽ	っ	ぽ	

読みのアセスメント
多層指導モデルMIMを参考に作成

絵と文字、音韻を結び付ける活動

【連携】

在籍学級担任や保護者と指導内容について連絡ノート等を用いて共有した。連携を図ることで、児童の学びが通級指導教室以外で生かされた。

2 書くことに困難さを示す児童への指導

<小学校高学年>



私は文字を書くことがちょっと苦手なの。手を上手く動かせないわ。消しゴムで文字を消すのも大変なの。

やる気のあるお子さんです。「書くこと」については過度な負担にならないよう、本人に合った道具を使ったり、支援方法を工夫したりします。



【長期目標を決めましょう】

- 自分で読み返しができる文字を書くことができる。
- 自分の考えや思いをしっかりと言葉で伝えることができる。

【短期目標を決めましょう】

- 文字の手本のポイントを守って手首を動かして線や文字を書くことができる。
- 文字をますの中に入れて書くことができる。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：見本を注視したり、視線をスムーズに移動したりする力を付ける。

主なねらい	活動（例）
身体の動かし方、柔軟性、体幹強化、バランス感覚を養う。	サーキット運動 ハンドローラー バランスボール（P. 43 参照）
姿勢や鉛筆の持ち方を確認、手指の巧緻性を養う。	線の練習（P. 43 参照）
注意集中、短期記憶の力、字形への意識を高める。	足りないものは？（P. 43 参照）
カタカナや漢字を楽しく書く機会を増やす。	陣取りゲーム（カタカナ・漢字） （P. 43 参照）

通級指導教室ではリラックスして活動に臨んで欲しいわ。



【留意点】

- ・身体全体を動かしたり関節を伸ばしたりしてから、文字を書く練習をします。
- ・書くことへの心の負担を軽減するために、楽しみながら書くことができるような指導内容を工夫します。併せて、音声入力ソフトの活用の練習を進めていくとよいでしょう。

【指導の実際】

本時は、「書くこと」に対する負担軽減のための指導を行った。身体全体や指先の使い方、字形への意識、書くこと等への意欲向上について、総合的に支援を行うための手立てを考えた。

1 始めの会

- ・口の体操、日付や予定を確認し、本時の活動の見通しをもつ。

2 サーキット運動

- ・トランポリンやハンドローラー、バランスボールを行う。

3 線の練習

- ・指のエクササイズを行ってから鉛筆を持つ。持たない方の手の使い方教え、注意集中の力を伸ばす。

4 写真の比較、足りないもの探し

- ・2枚の写真を見比べ、足りないものを探して文で書き、見る力を付ける。書いた文を音読することで字形を意識する。

5 陣地取りゲーム (カタカナ・漢字)

- ・サイコロを転がして出た目の数と同じ音数のカタカナや漢字を書く。まずで区切られた陣地を多く言葉で埋められた方が勝ち。

6 振り返りを行う。

- ・本時の活動を児童自身の言葉で振り返る。プリントは自分でファイルにとじ込む。

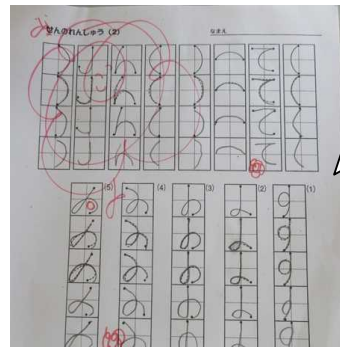
【教材・教具】



ハンドローラー



指のエクササイズ



線の練習

足りないものは?



振り返り

【連携】

本児の書字の困難さについて、掛かり付けの眼科医によるアドバイスを基に、共通理解して支援を進めることができた。

3 不安が強く学習意欲をもてない児童への指導

<小学校高学年>



僕はゲームで負けるとそわそわしちゃうんだ。授業中も「違うよ」とか「やり直し」って言われたりすると（失敗しちゃった。どうしよう）と思ってワーッってなっちゃう。

学習・生活の場面で「できた」を経験してほしいわ。自分でできることは頑張る、難しいことは手伝ってもらいながら、安心して取り組むことができるようになるといいわ。



【長期目標を決めましょう】

- 教師の言葉掛けを待たずに行動する。
- 一人でできることを増やす。

【短期目標を決めましょう】

- 年生で学習した漢字を読むことができる。
- 思いどおりにならないことがあっても短い時間で受け入れて、次の活動に取り組む。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：注意集中力、情報収集能力（視覚・聴覚）等をも高める。

主なねらい	活動（例）
身体の動かし方や柔軟性、バランス感覚を養う。	サーキット運動 風船バレー（P.45 参照）
注視・視線の移動、集中力、短期記憶力	パズル（P.45 参照）
ワーキングメモリー、コミュニケーションの基礎	聞き取りメモ検定
集中力、イラストから類推する力、形を弁別する力、空間認知力	漢字チャレンジ（P.45 参照） 算数チャレンジ（P.45 参照）

教材は、見本を見てまねる力を伸ばすもの、聞き取る力を付けるものにする事で、自ら学ぶ意欲を引き出したいですね。



【留意点】

- ・児童に合った学習方法を一緒に見付けていきましょう。
- ・学習に自ら意欲的に取り組む姿勢を育むための手立てを検討します。国語は漢字の読み、算数は自力で解答できる程度の文章題を選択します。

(本時 5 / 10 時間)

【指導の実際】

本時は、学習に自信をもって自ら取り組もうとする意欲を引き出すための指導を行った。「できる」経験をすることや、苦手としている情報収集（視覚・聴覚）能力を高めるための手立てを考えた。

1 始めの会

- ・口の体操、日付や予定を確認する。

2 サーキット運動を行う。

- ・トランポリンや平均台（回る、片足立ち）風船バレーを行う。

3 パズルを用い、注意集中する力を伸ばす。

- ・レベルごとに実施していく。見本と同じものが完成できたらシールを貼って意欲付けをする。

4 聞き取る力を付ける活動

- ・範読を聞き、問いに対する答えを書く。様々な場面で大切なことを聞きもらさないようにする。

5 漢字、算数チャレンジ

- ・フラッシュカード形式により、既習の漢字を見て声に出して読む。算数は自力で解くことのできる文章題を選ぶことで、自分で取り組むことができる力を育てる。

6 振り返りを行う。

- ・本時の活動を児童自身の言葉で振り返り、書いたプリントは自分でファイルに綴じ込む。

【教材・教具】



サーキット運動



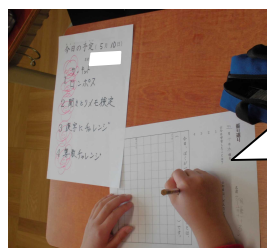
パズル



「もう一度言ってください」等のメモを取る時のポイントを押さえてから行う。



漢字チャレンジ



振り返り

「今日は風船バレーで先生にふわっとパスしました。楽しかったです」

【連携】

本児の現在の状態を在籍学級担任、特別支援教育コーディネーターと連絡ノートや電話連絡、面談等でこまめに共有することで、本児の心の状態に寄り添った通級による指導が展開できた。

4 集中力の持続に困難さを示す児童への指導

<小学校中学年>



周りがざわざわしていると、何となく落ち着かないんだ。あと、勝負に負けるのが嫌だよ。負けるとすごくイライラしちゃう。漢字が得意で算数と理科が好き。



落ち着いた環境の中で、必要なことに意識を向ける経験を重ねながら、自分に合った集中の仕方や課題への取組方法を身に付けていきましょう。

【長期目標を決めましょう】

- 自分の思いどおりにいかないことがあっても、それを受け入れることができる。
- 学習や作業に黙って取り組むことができる。

【短期目標を決めましょう】

- 気持ちの切り替えができる。
- 話す時と聞く時の区別をつける。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：集中力を持続する力を伸ばす。

主なねらい	活動（例）
集中力、指示理解、論理的思考	クロスワードパズル
集中力、視覚情報の理解、語彙力	漢字博士（P.47 参照）
集中力、創造力、忍耐	ドミノ倒し（P.47 参照）

今日のテーマは「集中」です。活動の時間を決めるので、活動が終わる時間まで粘り強く取り組めるといいですね。



【留意点】

- ・児童は最近、在籍学級で不安定な姿が見られます。通級指導教室では、まずは児童の考えを受け止め、無理に正そうとするのは避けるようにします。
- ・児童に合った学習方法を一緒に見付けていきましょう。

【指導の実際】

本時は、集中力を持続する力を伸ばすための指導を行った。通級による指導が2週間ぶりだったため、最後まで粘り強く活動に取り組めるよう、児童の関心が高い教材を取り入れた。

1 始めの会

- ・今日の活動で一番頑張りたいことを発表する。

2 クロスワードパズルを行う。

- ・分かる言葉から埋めていき、答えを予想する。

3 漢字博士

- ・部首が四方に書かれている正方形のジグソーパズルを組み合わせ、正しい漢字をつくっていく。

4 ドミノ倒し

- ・10分間でできるだけ長く並べる。
- ・途中で倒しても最後まであきらめないで行う。階段状に並べる等、いろいろな仕掛けを考える。

5 振り返りを行う。

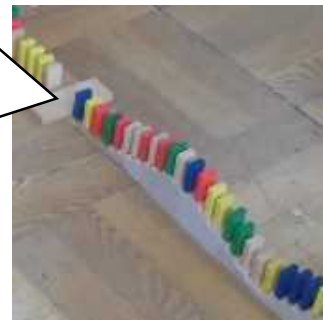
- ・プリントに自分が頑張ったこと、自分の中で変えていきたいところを記入し、発表する。通級指導担当は肯定的な言葉で学びの価値付けを行う。

【教材・教具】



漢字博士

ストッパーを入れて途中で失敗しても全部倒れないように工夫しよう。



ドミノを細い板の上に並べる工夫ができたね。こういうひらめきが日常生活で生かされるといいね。

【連携】

本児の精神的安定を図るために、在籍学級担任と連携を密にし、在籍学級での様子を把握している。通級指導教室では、成功体験を多く積み、在籍学級や家庭にフィードバックするよう努めている。

5 気持ちのコントロールと書くことに困難さを示す児童への指導

<小学校低学年>



僕は自分の気持ちをうまく整理できない時があるんだ。「いやだな、困った」と思ったら、たまたまなくなってその場から逃げ出したいくなるんだよ。



うまくできなったり、言葉が足りなったりして、つらい気持ちになると衝動的になってしまうお子さんです。まずは本人の思いを聞いて共感し、自分で気持ちの切り替えができた際には賞賛します。

【長期目標を決めましょう】

- 集団生活を円滑に行うためのスキルを身に付け、安心して生活する。
- 言葉でのやりとりの力を高め、自信をもって表現する。

【短期目標を決めましょう】

- 自分の思いを言葉にして表出することができる。
- ひらがなの字形を整えて書く。
- カタカナの特殊音節を正しく書く。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：気持ちを安定させ、活動に取り組む。

主なねらい	活動（例）
多くの数列の中から、目を動かし、指定された数字を見付ける。	目の体操（P. 49 参照）
カテゴリーや用途に分けながら、カタカナの言葉を書く。	カタカナの練習
字形への意識を高め、書くことを楽しんで学習する。	筆で書いてみよう （P. 49 参照）

スキルを指導することにこだわりすぎず、リラックスして学習に臨むことで、自然と身に付くような支援をします。



【留意点】

- ・眼球運動のトレーニングで目を動かしてから、書く活動「おなじにしよう」を始めます。視線は手本のポイントに向けながら、手先を同時に動かすことができるよう指導します。
- ・生活経験を豊かにするため、日常生活の場面の状況を読み取り、通級指導担当とロールプレイしながら、般化することを押さえた教材を選びます。

【指導の実際】

通級による指導開始より3か月、対話を大切にしながら、本児の良さを認めることを意識した。また、書くことへの緊張を緩める活動を設定した。

1 始めの会

- ・口の体操、日付や予定の確認をする。

2 目の体操を行う。

- ・上下左右の眼球運動を行う。

3 カタカナの練習を行う。

- ・カタカナの言葉を書く。分からないときはヒントやカタカナ一覧表を見て書く。

4 おなじにしよう。

- ・ピンボードのプリント版を行う。ペンを使って同じ模様を描く。

5 何て言えばいいのかな？

- ・話の内容について設問に答える。やりとりを通して、生活の中に返すことができるようにする。

6 筆で書いてみよう。

- ・字形を意識するために毛筆を使う。手首を返すところやとめやはらい、空間を空けるところなどを押さえる。

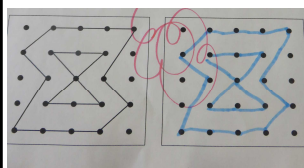
7 振り返りを行う。

- ・本時の活動を児童自身の言葉で振り返る。

【教材・教具】



目の体操



おなじにしよう



何て言えばいいのかな？



筆で書いてみよう

「もしもし、〇
〇です」「はい、
〇〇です」「分
かりました」
「伝えます」

「〇〇さん、
どこに気を
付けて書
きますか？」
「今日のベ
ストはどれ
ですか？」

【連携】

自校通級のため在籍学級担任との情報交換が密にできる。在籍学級で本児のトラブルがあった際には、在籍学級担任や保護者と相談しながらタイムリーに指導に当たることができている。

6 集団参加やコミュニケーションに困難さを示す児童への指導

<小学校中学年>



好きなことは動画サイトを見ること。お笑いも好きだよ。僕、いろんな声が聞こえる場所が苦手だし、同級生とはうまく話せないんだ。去年は学校へ行くのもつらかったよ。

本年度入級してきました。まずは、通級指導教室が安心できる場になってほしいと思います。本人の様子を見ながら、授業の流れに乗せていきます。



【長期目標を決めましょう】

- 聞かれたこと（質問）に対し、自己決定して返事ができる。
- 集団参加する機会が増える。

【短期目標を決めましょう】

- 通級指導教室の授業の流れや約束を覚えて学習に取り組む。
- 平仮名の特殊音節をスムーズに読むことができる。
- ホワイトボードに「書く」等の自由な表現活動を楽しむ。

【中心課題と主なねらい・活動例】

中心課題：自信を持って集団に参加し、自己表現することができる。

主なねらい	活動（例）
書くことへの抵抗感を減らし、自己表現する力を養う。	先生に伝えよう！（ホワイトボードに思い切り書く） （P.51 参照）
特殊音節の読みの力を養う。	どれですか？
ワーキングメモリーや集中力、手指の巧緻性を高める。	○×数字レース（P.51 参照）
加法、減法の練習、短期記憶の力を伸ばす。	ゲームをしよう（P.51 参照）

姿勢を保つことが難しく離席する場合がありますが、通級指導担当を意識しています。集中した場面をすかさずとらえて流れに乗せます。一つ一つの指導で評価しつつ、本児の全体像も認めていきます。



【留意点】

- ・自ら取り組むために、本児にとって一番良い方法を選択し、取り組むことができるようにします。（例：指で押さえると読んでいるところに集中できる。うまく伝えられない時は、手紙に書いて知らせる。等）

【指導の実際】

本時は、苦手としている読み書きへのアプローチをきっかけとして、自分でできることの自己理解をしたり、支援者との安心な関係を築いたりすることをねらいとしている。

1 始めの会

- 今日の学習の予定を確認し、先を見通す。口の体操も行う。

2 先生に伝えよう！

- 自己表現の機会を増やし、書くことを楽しむ。

3 どれですか？

- 特殊音節の読みをカードで行う。例文を読みながら、担当とやりとりをしながら行う。

4 ○×数字レース

- 指示に従って迷路を進む。最後に通った色の数を数える。

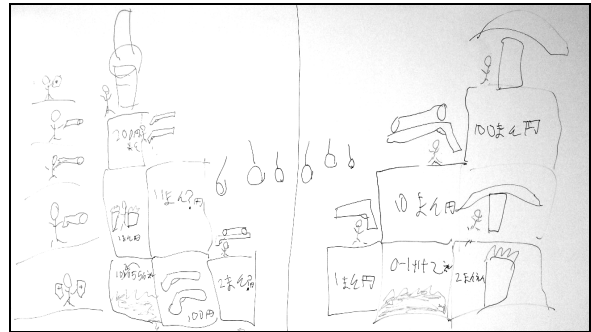
5 ゲームをしよう。

- チロリアンルーレットを行い、対戦活動を楽しむ。玉の色ごとに得点を計算し、表に記入して、合計点を競う。

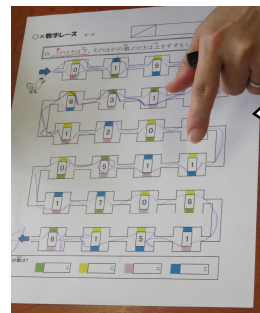
6 振り返りを行う。

- プリントに今日自分が頑張ったことを書く。通級指導担当は学びの価値付けを行う。

【教材・教具】



先生に伝えよう！



○○さんって指で押さなくてもよく見ることができるね。

○×数字レース



チロリアンルーレット

やった、赤玉の点が2倍だよ！今日は調子がいいな～。

【連携】

本人の心理的な安定を図るために、在籍学級担任と連携を密にし、学級での様子を把握している。また、保護者から病院の受診結果や医師のアドバイスを聞いて情報を共有し、指導の参考にしている。

7 見通しをもつことに困難さを示す生徒への指導

<中学生>



僕の得意なことは、人の話を聞いて覚えることなんだ。でも、初めてのことを行動に移すときに、どうやったらいいか聞いても分からないことが多いから困っているんだ。いよいよ高校進学だけど、高校までの道のりがよく分からなくて不安なんだ。

不安な気持ち、よく分かるよ。話を聞いて理解できる得意なところを生かして、高校までの道のりを学習していきましょう。



【長期目標を決めましょう】

- 書字や図形の形態についての視覚情報処理の力を、聴覚の力を生かしながら高める。
- 新しい作業について徐々に挑戦することで体験を増やし、自分のやり方を見付ける。

【短期目標を決めましょう】

- 得意な聞く力を使って、見る力の練習を行う。
- 進路について困っていることや不安なことについての具体的な解決策を見付ける。

【留意点】

- ・聴覚情報処理と視覚情報処理の両方を同時に練習できる教材を選択しましょう。
- ・生徒の自己理解を深めながら、不安を軽減する指導を考えていきましょう。
- ・通級指導担当だけでなく、在籍学級担任や保護者と生徒に付けたい力や不安を共有し、連携していきましょう。

具体的にどんなことに不安を抱えているのか、聞いてみよう！抱えている不安を軽減すると同時に、自己理解を深められるような指導にしたいですね。

家庭や在籍学級では、どのようなアプローチができるのかも考えていった方がいいですね。



【指導の実際】

本時は、生徒、保護者が不安に思っている高校入試や通学について、具体的な手立てを講じ共に考えていくこと、自己理解を深めることをねらいとしている。

1 学習のめあてについて考える。

- ・ホワイトボードに予定を表示し、学習記録用紙に記入する。

2 聴覚と視知覚を結び付けた練習

- ・駅構内で必要な情報をキャッチするという設定で、掲示板や聞き取りの両方で情報整理の練習を行う。

3 私ってどんな人？

- ・高校入試の面接では、自分自身について答える場面が想定される。そのため、自分自身について見つめるという手続きが必要である。

4 高校までの道のり

- ・不安に感じていることを順位付けした結果、道のりについて一番不安が大きかった。志望校が決定し受験や通学のために、道のりと交通機関をなぞった。自転車、電車を使って通学するため、実際の現場の写真を使い、着目する情報を考えた。自転車マナー・ルールクイズや想定内トラブル解決法クイズ等を取り入れ、授業が単調にならず生徒が意欲的に学べるようにした。

5 めあてを振り返る。

- ・生活場面に生かせる場面をイメージする。

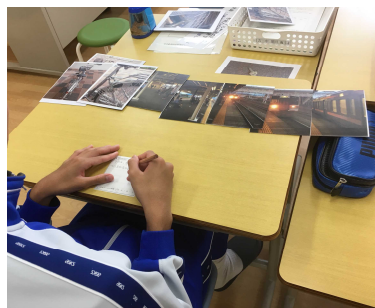
【教材・教具】



正しく聞き取ろう



私ってどんな人？面接の準備



高校までの道のり

自分の特徴について付箋紙に書き出す。苦手なことばかりに目が向かないように留意する。

実際に乗る電車や改札口の写真を教材にして、具体的なイメージをもてるようにする。

【連携】

在籍学級担任と保護者と通級指導担当の三者で面談を行ったことから、生徒の成長や抱えている不安の具体、中学校卒業後の見通しが共有できた。関係者が同じ席で話し合い、情報共有できたことが、生徒の具体的な支援につながった。移行支援については、個人情報であるため保護者の了承を得る等、配慮が必要である。

8 自分の思いや考えをまとめるのに困難さを示す生徒への指導

<中学生>



僕は行事の振り返り作文や日記を書くのが苦手なんだ。実際に経験したことを話して伝えることはできるけど、その時に気持ちや考えたことを聞かれると困ってしまうんだ。日記も自由に書いてきてねと言われるけど、自由って何を書いたらいいのか分からないんだよ。



そうなんだね。まずは実際に経験したことを話してくれるかな。その時見えたものや周りの友達の様子を一緒に思い出してみよう。材料が集まってくると、書きたいことが見つかりそうだよ。

【長期目標を決めましょう】

- 自分の思いや考えをまとめて、表現することができる。
- 図やパソコンなどを利用して自分の思いや考えを相手に伝えることができる。

【短期目標を決めましょう】

- 写真やしおりを使って時系列に沿って振り返りをする事で思い出すことができる。
- 図を用いて自分の思いや考えをまとめ、相手に話すことができる。
- 書き表すこと以外（パソコンやタブレットの使用など）の手段を試し、自分に合った手段を見付ける。

【留意点】

- ・生徒の実態に合わせた教材の選択（視覚情報を手掛かりにして振り返る）
視覚からの情報が手掛かりになるので、写真や行事のしおり、プログラムを準備し、リポーターのように伝えてもらいます。結果や記録など数字で表せるものは、記憶に残りやすく事実として受け入れやすいので、情報として活用することを薦めます。
- ・生徒の自己理解を深めながら、不安を軽減する指導を考えていきましょう。
自分の考えを文章にまとめることが苦手な生徒には、メモ用紙や付箋紙を使って自分の考えを書いてみるようにします。書くことが苦手な生徒には、パソコンやタブレット、ICレコーダーに入力することで記録に残すようにします。

【指導の実際】

振り返り作文を書こうとしている生徒にプログラムを見せて時系列に沿って思い出すよう促し、その時の様子を言語化して伝えることをねらいとしている。

1 今日の学習のめあてについて考える。

- ・ホワイトボードに予定を表示し、学習記録用紙に記入する。

2 思い出して言葉にしてみよう。

- ・運動会のプログラムを使って、自分が参加した競技には青〇、印象に残っている競技には赤〇を付けてみる。赤〇の中から、一番印象に残っているのはどの競技？と赤〇を更に順位付けし、なぜ印象に残っているのかを考えさせ、言語化させる。通級指導担当が付箋紙に言葉を拾って書き、作文の材料づくりをする。

3 リポーターになって伝えて！

- ・赤〇を付けた競技はどんなふう盛り上がっていたのか、誰が活躍して、結果はどうだったのか、リポーターのように伝えて、その時どんな気持ちだったかなどを振り返り言語化する。うまく言葉にできない時には選択肢を与えて自分の考えや思いに近い言葉を選ぶ。

4 振り返りを行う。

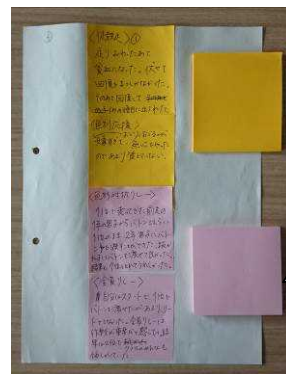
- ・プログラムに沿って、順番に思い出すようにすれば、その時の様子や自分の気持ちも思い出せた。

【教材・教具】

運動会のプログラム・付箋紙2色・ミニホワイトボード

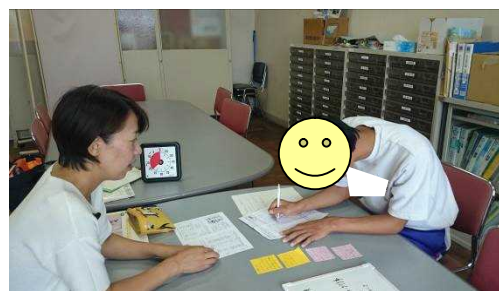


思い出して言葉にしてみよう



心に残っている内容を2色に分けてメモするね。

リポーターになって伝えて！



他の場面にも使えそうだね。

【連携】

事前に運動会アンケートで在籍学級担任と練習から本番までの取組の様子を共有したことで、生徒の成長やつまずきやすいところを踏まえて指導ができた。運動会のプログラムや行事のしおり、写真などを事前に用意できると生徒も語りやすい雰囲気となり、より具体的な支援につなげることができる。

9 双方向のコミュニケーションに困難さを示す生徒への指導

<中学生>



私ね、ついつい友達や先生に辛口のコメントをしてしまうの。言ってしまった後、後悔することもあるんだよね。でも、少しずつ気を付けられるようになってきたんだよ。

<中学生>



私ね、嫌われキャラなんだよ。でもあんまり気にしない。私は私だし。でも、クラスや部活のみんなとは、楽しく話したいんだよね…。

【長期目標を決めましょう】

- 周りの雰囲気に合わせてたり、集団に参加するための手順や方略を知ったりすることで、集団活動に参加しようとする。

【短期目標を決めましょう】

- 相手の話を受けてやりとりする経験を重ねることで、思考を言葉にして目的に沿って話すことができる。
- ホワイトボード等を活用し、言葉の背景にある気持ちや考えを整理することで、自分のコミュニケーションの傾向を理解する。

【留意点】

- ・生徒の実態に合わせた教材の選択
同じ課題を持つ生徒同士でグループ指導の形態を組みます。会話をする際には、事前に話すことや質問を準備しておくことの大切さに気付かせ、論理的に話題を組み立てて話すことができるようにします。
- ・通級指導担当だけでなく、在籍学級担任や保護者とも生徒の不安感や付けたい力を共有し、連携していきましょう。生徒本人からの要求や提案にはできる限り協力し、在籍学級担任や保護者とつないでいきます。

本人たちとの何気ない会話を楽しみます。自然な会話から、「今、何に関心があるのか、困っていることや悩んでいることがないか」等、探りながら指導に生かしていきます。その過程を通して、自己理解や他者理解を促します。



【指導の実際】

連絡ノートのコメント欄から、生徒の興味関心や頑張っていることや課題等を見だし、担当が言語化して価値付けることを丁寧に行う。この過程から、相手の立場に立ちながら、自分の思いを人に伝えるための方法を指導内容に取り入れた。

1 始めの会

- ・予定をホワイトボードに表示し、学習記録用紙に記入する。会進行は生徒が行う。教室の合言葉等も唱和する。

2 理由の中身を考えよう

- ・「〇〇さん、なぜ剣道部に入ったの？」と問われて、「剣道部は面白いから」と答えた。
- ・本時で「面白い」の中身を立体的に取り出し、面白いという一つの言葉の中には、たくさんの要素が入っていることを確かめていく。担当との会話のやり取りの中で、面白いの理由を考え始め、面白いの中身を深く多面的に捉えていった。
- ・理由を問うことは、論理的な思考を育てるうえで大切な方法である。

3 振り返りを行う。

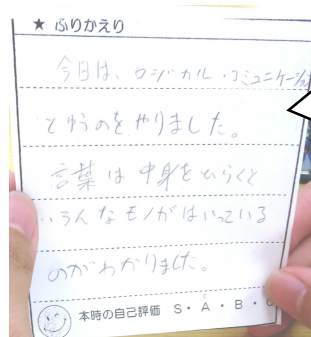
- ・会話を準備しておけば、これから高校生になって新しい環境になっても安心だね。
- ・私、ちょっと、みんなに辛口で言い過ぎてたかな。卒業までに、「今、私が言ったこと変だった？」って試してみようかな…？

4 終わりの会

【教材・教具】



理由の中身を考えよう



言葉は中身を
開くといろ
んなモノが
入っているの
が分かりまし
た。

【連携】

グループ指導を通して、コミュニケーションスキルを高める指導を行っている。在籍学級担任との連絡を密に取りながら、進学を見据え、面接の練習を計画的に行っていく。

10 自分の話し方に自信をもてない生徒への指導

<中学生>



私ね、友達や先生と話す時に、うまく言葉が出ないことがあるよ。「この伝え方でいいのかな?」「もっと違う言い方があるんじゃないかな?」って思っているよ。でも、前に比べると人に伝えられるようになったかな?

<中学生>



僕は、自分で「言葉が足りない!」って思っている。いつもかっこよく話したいと思っているけど、全くうまくいかなくて自己嫌悪に陥るんだ…
みんなとスムーズに話したくて、スマートフォンで言葉を検索することもあるよ。

【長期目標を決めましょう】

- 相手とコミュニケーションを成立させるための自分なりの手段をもつ。
- 言葉の意味が分かり、自分の思いや考えを正しく伝えることができる。

【短期目標を決めましょう】

- コミュニケーションを楽しむために自分に合った方法を知り、実践することができる。

【留意点】

- ・生徒の実態に合わせた教材の選択

同じ課題を持つ生徒同士でグループ指導の形態を組みます。会話をする際には、事前にそのことについて、言葉を作ってストックしておいたり、言葉を増やす方法を知ったりします。

- ・生徒に付けたい力は、表現力や他者理解、そして自己を認知する力です。思春期の生徒の不安な気持ちに丁寧に寄り添います。今一番の関心事や困っている事を探って、指導支援に生かしていきます。

アサーションの考え方を取り入れた学習です。自分が言いたいことが言えているか、言葉が浮かんでこなくても慌てない、相手に「もっとちゃんと話して」と言われた際には、どう対処するか等を学び、自己理解や他者理解を促します。



【指導の実際】

男子生徒については、欠席が続いていたため、久しぶりの通級による指導であった。本人の繊細な気持ちを大事にしながら指導に入っていた。

1 始めの会

- ・ 予定をホワイトボードに表示し学習記録用紙に記入する。会進行は生徒が行う。教室合言葉も唱和する。

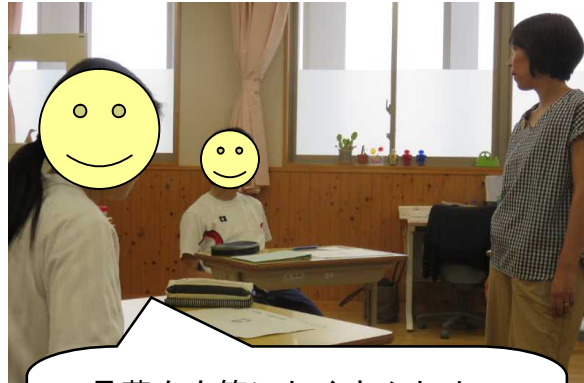
2 言葉の宝箱を増やそう。

- ・ T : ○○○ (国民的キャラクター) を思い出してみて。どんなところが好き? いいところはどこだと思う? ワークシートに書き出してみよう。
- ・ S1 : いつも、助けてくれるところかな~? いろんな道具をもっているじゃん、ねえ、○○さん。どう思う?
- ・ S2 : そうかな~? 映画でいろんなところに連れて行ってくれるところじゃない?
- ・ T : 二人とも違うね~。違うところが面白いね!

3 3ヒントクイズを作ろう。

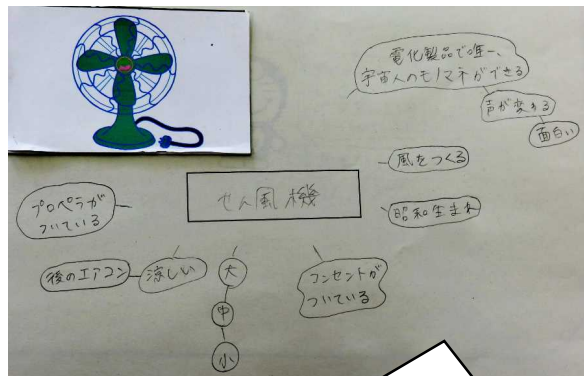
- ・ S1 : これは、コンセントがついています。大中小があります。その前でしゃべると声が変わります。
- ・ S2 : え~? 大中小じゃなくて、強中弱じゃない?
- ・ T : そういう表現もあるね。言葉っておもしろいね。違うことから、会話が始まっていくね。

【教材・教具】



言葉を宝箱にたくさんためているとコミュニケーションが楽しくなるな。

言葉の宝物を増やそう



言葉の宝箱で学習したことを実際にやってみよう。相手に伝わるかな?

3ヒントクイズを作ろう

【連携】

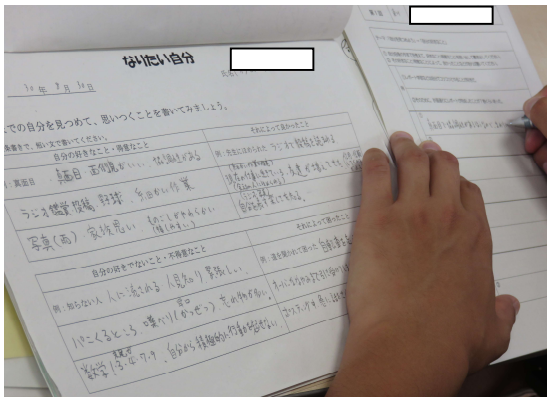
同じ課題を持つ生徒同士でグループを組み、相手の言動から自分を客観的に振り返ることができるような場を仕組んでいる。不安定な生徒の気持ちを代弁し、保護者や在籍学級担任に生徒の今現在の困り感を伝え、最善の方法を模索するようにしている。

11 高等学校における通級による指導の実際

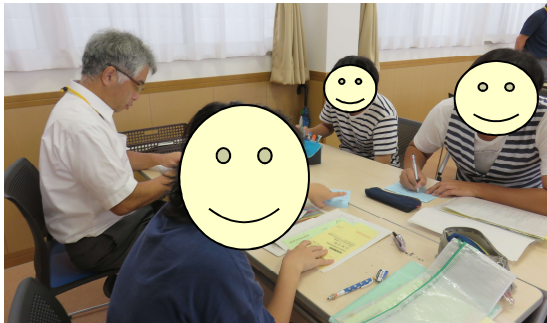
平成 30 年度「通級による指導」が高等学校でも始まりました。文部科学省によると、公立では 45 都道府県と 5 政令指定都市の計 123 か所で教室が設けられました。静岡県内では、静岡中央高等学校通信制の課程で通級指導が始まっています。

静岡中央高等学校は静岡県内唯一の公立通信制高等学校です。中央キャンパスの他に、三島長陵高等学校内の東部キャンパス、新居高等学校内の西部キャンパスの三つのキャンパスで自立活動に相当する指導が行われ、単位認定が行われています。それぞれのキャンパスでの実際の指導の様子を紹介します。

【学習内容】（自己理解）

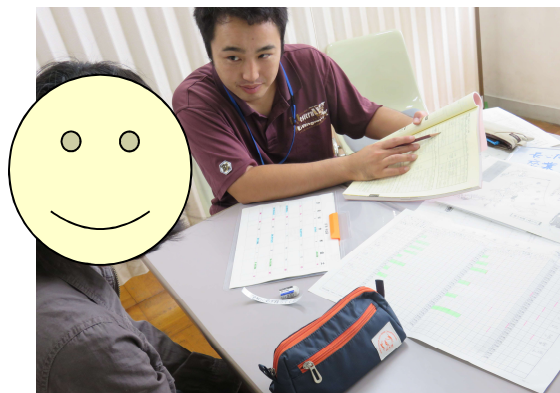


振り返り：〇〇さんの意見を聞いたら、□□と思いました。こうすれば僕はできるんだと分かりました。

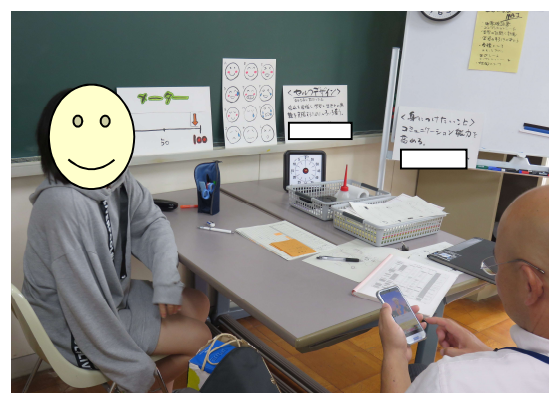


自分との対話、通級指導担当との対話を通して自己理解を深めていく。本時の活動は、自分を知るための材料集めの時間である。通級指導担当や仲間との対話から、自分への発見が広がる。

【学習内容の工夫】



一人一人に合わせたスクーリングの選択プランを相談している。月の予定表、学習進度、年間シラバスと組み合わせて考えていく。



I C T機器を使って、人物を当てる質問タイムである。和やかな雰囲気の中で生徒たちは自分を解放していく。

【学習内容の工夫】



〇〇君が知っているように、世の中には、目に見えない暗黙のルールがあるんだよね。人間関係を深めるには、相手に聞くことが大切だね。これから一緒に質問を考えていこう。教室の中だけでなく、グラウンドに出たり、学校の外にも出掛けたりしてみよう。

セルフデザイン (SD) シートを使って、授業の蓄積と振り返りを行っていく。家庭との連携も視野に入れ、通信欄を設けている。通級指導教室が生徒たちにとって安心できる場になってきており、通級指導担当は生徒の姿の変化から具体的な手応えを感じている。

SDシート



生徒番号 _____ 名前 _____ 実施月 _____ 日 () _____
 日時 _____ ~ _____

👤👤👤 本日の内容 _____ 記録者() _____

本日の活動内容 _____ 活動の様子 _____

活動内容と本時の様子
(担当から)

🗨️ 通信欄
 【本人】 _____ 【保護者】 _____ 担当教諭【 _____ 】

三者 (本人・家庭・担当) との連携

※保護者の方は活動内容や様子、本人の感想を読んでいただき、ご家庭でのあらわれや気づいたこと、感想をお書きください。

【学習環境、内容の工夫】



バランスボールに乗って授業が始まる。会話も自然と弾む。

コンディションシート

クラス _____ 生徒番号 _____
 氏名 _____

- 5: 調子いい
- 0: 普通
- 5: 調子悪い

現在の自分のこころの状態を知りましょう。
 今の自分に合ったところにマークしましょう。

からだ

5 4 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5

元気!! ←—————→ 調子悪い

あたま

5 4 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5

スッキリ! ←—————→ 重い

こころ

5 4 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5

晴れ ←—————→ 不安、落ち込む

やる気

5 4 3 2 1 0 1 2 -3 -4 -5

エネルギー満タン ←—————→ 無気力

今日の気持ちを段階で表す。このシートを基に生徒の状態を確認する。